

# 実践型「バーチャルカタログ」構築プログラム

無料

プログラミング知識ゼロから、  
XRツールの活用を目指すブートキャンプ。  
自社商材をスキャンして  
バーチャルカタログを作成する方法から、  
ビジネスにどう組み込むかまで  
具体的に学びます。

自社商材を  
3D化!

知識不要!  
スマホで完結!



参加者募集!!

# XRビジネス ブートキャンプ

「XR(クロスリアリティ)」とは、VR(仮想現実)やAR(拡張現実)など、  
現実空間とデジタル空間を融合させる技術の総称です。

全2回

各日  
13:00-17:00

2026

7/24(金) 8/21(金)

山形メディアタワー  
(山形市旅籠町2-5-12)

## メイン講師

株式会社エスユーエス  
Unityエンジニア **永井 満彬**  
Michiaki Nagai

上級VR技術者資格と教員免許を持つ、XR技術の実践的指導の  
プロフェッショナル。今回のプログラムではメイン講師として、座学  
からハンズオンまでを一貫して担当します。



## プログラム総括・監修

株式会社エスユーエス  
執行役員(先端領域事業開発担当) **圓城 博章**  
事業開発部長(現任) Hiroki Enjo

エンジニア→営業→事業開発→執行役員と、技術とビジネス双方  
の現場を知るリーダー。本プログラムではプログラム全体の総括・  
監修を担い、企画から当日の進行管理まで責任を持ちます。



## 本プログラムで学ぶこと

- 3D計測の基本に関する講義(座学)
- スマートフォン(Scaniverse)を用いた3D計測実習
- 作成データの活用実習(バーチャルカタログへの実装・AR表示)

※プログラムの内容および登壇講師は、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 応募方法

右記のQRコードからアクセスいただき、お申し込みください。

〈定員〉限定30名 〈お申込締切〉7月3日(金)

<https://forms.office.com/r/hzRyxLshBJ>



## 3D(三次元)計測とは

LIDARスキャナ等の機器・技術を活用し  
て、モノ・空間などを三次元で記録する  
技術です。最近では、スマートフォンを  
使用して簡単に3Dモデルを作成する  
ことが可能になりました。

〈お問い合わせ〉  
事務局 / 山形新聞社成長戦略推進本部  
Mail [yamashin.lab@yamagata-np.jp](mailto:yamashin.lab@yamagata-np.jp)  
TEL023-666-5121(平日10:00~17:00)

- 主催 / ヤマガタリアルメタパース研究所
- 協力 / 株式会社エスユーエス

# XRビジネスブートキャンプ 実践型「バーチャルカタログ」構築プログラム

## カリキュラム概要(全2回)

第1回

7/24(金) 13:00-17:00

### XRの基礎知識と 3Dスキャン体験

▶ 13:00 - 14:30 (90分)

#### 座学・事例紹介

- ・本プログラムの目的とゴール共有
- ・XRビジネス昨今のトレンドと製造・販売における「すぐ使える」導入事例の紹介
- ・3Dデータの基礎知識:モデリングとスキャンの違い、AR表示に適したデータ容量や制約

▶ 14:30 - 15:00 (30分) 休憩

▶ 15:00 - 16:50 (110分)

#### 実技ハンズオン(3Dスキャン体験)

- ・スマホのスキャンアプリ(無料アプリ想定)のインストールと基本操作
- ・綺麗にスキャンするコツ(光の当て方、対象物の選び方)のレクチャー
- ・会場サンプル品(椅子、箱、工業部品等)を各自スキャンし、3Dデータ化するワーク

▶ 16:50 - 17:00 (10分)

#### まとめ・宿題

- ・宿題:次回までに「自社の商材」をスキャンし、スマホ内にデータとして保存

第2回

8/21(金) 13:00-17:00

### バーチャルカタログ構築と ビジネス応用

▶ 13:00 - 14:30 (90分)

#### 実技ハンズオン (バーチャルカタログへの実装)

- ・前回の復習と、各自が宿題でスキャンしてきたデータの確認
- ・エスユーエス提供の「バーチャルカタログサービス」環境へログイン
- ・スキャンデータをPC経由でアップロードし、ブラウザ上で3D表示、スマホでAR表示を体験

▶ 14:30 - 15:00 (30分) 休憩

▶ 15:00 - 16:45 (105分)

#### ワークショップ (自社ビジネスへの応用アイデアソン)

- ・構築したARカタログを「営業ツール」「展示会」「社内研修」等でどう活用するかグループディスカッション
- ・各グループの代表者によるアイデア発表と、講師からのフィードバック

▶ 16:45 - 17:00 (15分)

#### 総括・ネクストアクション

- ・より高度なXRシステム開発が必要な場合の相談窓口(エスユーエス)の案内
- ・山形県の「補助金活用スキーム」の紹介(年度内の事業化に向けた案内)

- 参加対象…商品の製造や販売に関わる企業・個人事業主など(プログラミングの知識は不問です)
- 定員……………30名
- 持ち物……【必須】ノートPC Wi-Fi接続可能で、一般的なWebブラウザ(Chrome等)が動作するもの  
【必須】スマートフォン カメラ機能付き。iPhone Pro等のLiDARスキャナ搭載機種を推奨(通常スマホでも対応可能)  
【第2回のみ】自社商材 卓上に載るサイズのもの

参加無料

※プログラムの内容および登壇講師は、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※公共交通機関または近くの有料駐車場をご利用ください。

事前に「Scaniverse」アプリ(無料)を  
下記よりダウンロードして  
ご参加ください。



SCANIVERSE

App Store  
iOS  
(iPhone / iPad)



Google Play  
Android



#### Scaniverse対応端末

##### iOS

iPhone 12/13/14/15/16/17 Pro or ProMax  
iPhone 12/13 ノーマル・Mini  
iPhone 14 ノーマル/プラス  
iPhone SE 2/3, iPhone XR/XS/XS MAX

iPad Pro 12.9インチ(第4世代)以降  
iPad Pro 11インチ(第2世代)以降  
iPad Pro 13インチ/11インチ(M4)  
iPad(第8世代以降)、iPad Air(第4世代以降)  
iPad mini(第5世代以降)

##### Android

以下の要件を満たすスペックの機種:

- Android 7.0 (Nougat) 以降
- 4GB以上のメモリ
- ARCore 及び Depth API のサポート

※機種によって使用できる3Dスキャン方法が異なり、スキャン方法や作成されるデータの質に相違があります。

#### 参加にあたっての注意事項

- スキャン対象はモノ資料のみ。空間の3Dスキャンは実習内容に含まれません。
- Wi-Fi環境は会場で用意。接続端末のセキュリティ対策(セキュリティソフト等)は各自で実施をお願いします。
- Wi-Fiは本事業関連での利用に限定。講習会と無関係な利用による損害・トラブルについては一切の責任を負いません。
- ノートPCの種類は不問。ただしスペックによってはデータ処理に時間を要し、実習進行が滞る可能性があります。